

テレワーク時代のマネジメント キーワードは『自律・自走』

時代はテレワークに大きく舵をきりました。
オンライン営業やオンライン研修の定着、新卒や若手社員の「テレワーク」志向を考えると、コロナ終息後においても、完全にビフォーコロナの働き方に戻ることはないでしょう。企業として、元に戻そうとするのではなく、新しい世界を作ることを目指す方向に対応するのが良いように思います。

Withコロナの働き方もメリットとデメリット出揃いました。
テレワークの課題は、コミュニケーション・状況把握が難しいところにあるようです。

このデメリットを解消するために、

- ・だから、スケジュールが見える化
- ・だから、報告の徹底
- ・だから、毎日ミーティングする
- ・だから、ずっとテレビ会議をつなげておけ

となっていたら、黄色信号です！

こうした監視型のマネジメントは、テレワーク時代では限界です。

- ・取引先の現状把握や今後の戦略構築等を自分で行わず、上司に「どうしたらよいですか？」といつも指示を仰ぐ
- ・上司の指示が多すぎてどう動くべきかを考える時間がなく、ただ目の前の仕事を機械的にこなすだけになってしまう。

これでは、自律性は育ちません。
生産性が上がらない、自律性が育たないのは当然のように思います。

自律型管理職になれない原因



多くの人が自分は成長したいと思っている
でも、多くの人がどうやって成長したら良いかわかっていない
そして、多くの上司が、部下の育成課題、育成方法についてよくわかっていない

管理職の役割が何かについて、わかっていない。

多くの管理職が、目の前に積まれた業務に追いまくられ、自らが果たすべき目標を見失っている。

目標を達成する為のノウハウ・手段が分からず、なかなか行動に移せない。

BPASS自律型管理職育成のための3つのポイント

①腹落ちする(“知っている”を“自分事”に)

【事前課題】自分の考えを引き出し

- ・会社が管理職に求めている役割とは何ですか？
- ・管理職に何故問題解決力が必要なのか？

【受講者同士のグループ討議】他者の意見に気づき

自ら考えてきた答に基づき、他の受講生や講師と議論することで
「そうか。こう動かなければならないのか！」と「気づき・腹落ち」へと促します

②仕事力診断(BPASSサーベイ)の受験と自らが求める管理職像の設定

【事前課題】仕事力診断で現状の自身のマネジメント適性を棚卸し
管理職として、よくできている点、至らなかった点や、これでいいのだと
整理できる点が何か

【研修】自分の強み・弱みを理解した上で、自分の特徴を活かして
どんな上司になるか、自分なりの管理職像の目標を設定

③必要なスキルの会得

自らが求める管理職の役割をしっかりと果たすために必要な、
特に大事な4つのスキルにつき学び・会得
リーダーシップ、PDCA、問題解決力、コミュニケーション(コーチング)



公開講座のメリット

公開講座では、他業種、他企業の意識が高い受講者に影響され、
スイッチのついていない受講者の役割認識が自然と底上げできること
がメリットです。

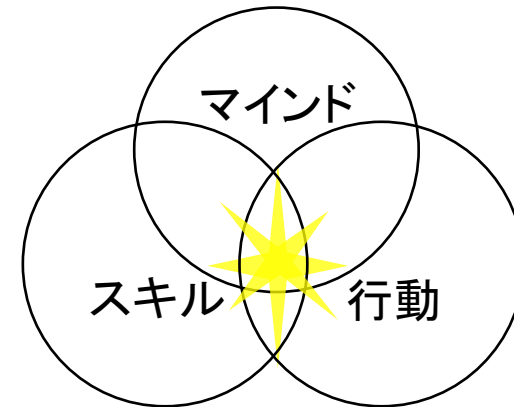
公開講座の場合には、他社の管理職との情報交換や討議を通じて
お互いの仕事の内容や悩みを知ることで受講者の世間を見る目が
広がる効果が期待できます。

① 異業種交流

② 職場での問題解決時の疑似体験

③ 業務経験・経営経験豊かな講師陣

★BPASS自律型管理職養成セミナー★



自信を持って管理職に挑戦するために

オンライン

BPASS公開講座 テレワーク時代に適應できる

第31回 自律型管理職 養成セミナーのご案内

(2日間コース)

日時 2021年12月7日(火) 9:00-17:00
12月8日(水) 9:00-17:00

開催方法 オンラインによるセミナー開催

階層 貴社 管理職

受講者数 原則上限10名/回(少人数制)
◇1社につき原則2名/回まで
◇受講者数3名から催行いたします

受講料 ￥88,000
(10%税込・お一人様)

お申し込み期限
2021年11月16日(火)

セルフアウェアネスが自律型管理職の第1歩

☆腹落ちする☆

BPASSサーベイをフィードバックとして外面的自己認識の理解を深め、自分なりの管理職像を見つけて目標設定します。

☆実践できる☆

管理職の役割を果たすために、特にリーダーシップ、コミュニケーション、及び問題解決に焦点をあて、さらにテレワーク時代にも実践できるPDCAのスキルを習得します。

本セミナーの目的は、自らがどう動くべきかにつき

「気づき」「考え」「自律型管理職への変革を決意」

特徴

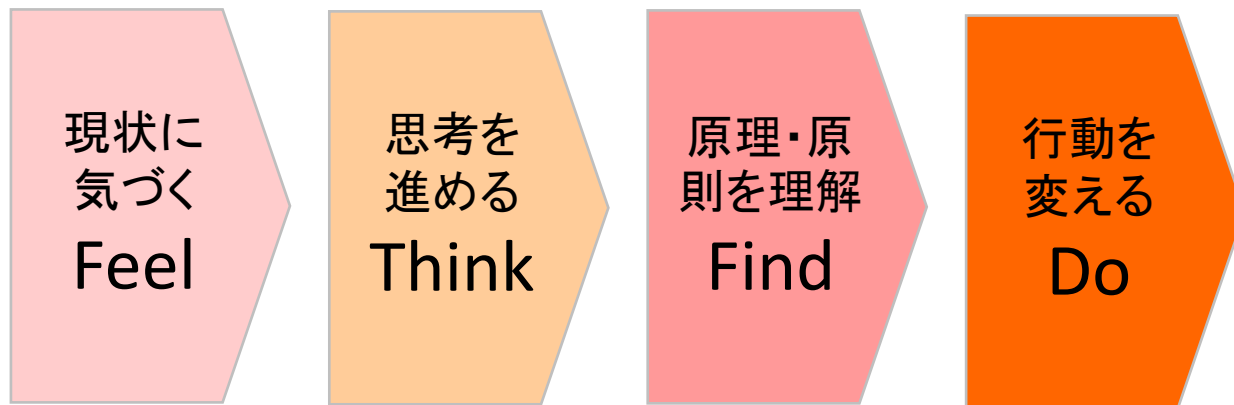
- 豊富なツール、ノウハウにより、自らの特性に『気づき』それを基に『自己変革』のための目標を策定
- 現実的にビジネスシーンで起こりうる多様な問題(ケース)に関してグループ討議により解決策を発見し、考えるスキルのパワーアップ
- 役員経験者、管理職経験者が、現実のビジネス遂行上のポイントを実体験に基づいて解説
- 他社の管理職の悩みややり方を知ることができ、ご本人の世界が広がることも有益

実績

公開講座 累計受講実績： 67社 184名
自律型管理職養成研修実績 173社 379件

※2021年5月現在

研修の進め方



セミナーの狙い

- (1) チームマネジメント力の洗い出し
BPASSの診断結果を自己認識し、管理職としてマネジメント力を洗い直す
- (2) 管理職の役割とマネジメントスキル
管理職の役割と機能や、マネジメントに付随するマインドやスキルについて学び、受講者自身の課題を見つけ出す
- (3) リーダーシップ(モチベーション、チームワーク)
ケーススタディにより、管理職としての組織運営のあるべき姿について気づきを得る
- (4) マネジメントサイクルを回す
PDCAを回すためのスキルについて学び、自身のマネジメントサイクルが上手く回らない理由と対策を再確認する
- (5) 問題解決力(考えるスキル)
テーマをもとに、現状起きている、または、今後発生が想定される問題点・課題を抽出し、その原因は何か、解決のための施策は何かについて、グループ討議をする
- (6) コミュニケーション・コーチング
・世代間ギャップを超えて信頼関係をつくるためのコミュニケーションについて考える
・あふれる情報の中から共有すべき情報を導き、情報伝達、共有することで組織運営をパワーアップする
- (7) 異業種交流を深める
他企業の受講者と話しあい、管理職としての行動力強化のための気づきを得る

プログラム内容

やらされ感からの決別、自律型管理職への意識変革

本人の気づき

- ・チームマネジメント力(サーベイ・くもの巣)
- ・会社が求めている管理職の役割と機能
- ・異業種他社の管理職との交流

経営経験豊かな講師による学びとグループ討議

- ・管理職に期待されている役割を果たすためのスキルの習得
- ・リーダーシップ
- ・世代間ギャップを乗り越えるコミュニケーション(コーチング)
- ・問題解決方法 等

現状認識・問題認識による
気づき

対話・グループ討議による
目標設定

自らの、翌日からの
「改善行動計画」の
作成と決意表明